

英語コンテスト（10月）

ねらい：英語運用能力を実際に発揮する場。パフォーマンス評価などを導入して新たな視点から能力を測る。

活動内容：運営・実施に生徒が関わり、積極的な行事への参加がみられる。コンテスト当日は外部からも審査員を招き、パフォーマンス評価を活用した審査が行われる。教員にとってもこれまでの英語指導の振り返りと今後のあり方を検討する重要な機会となっている。



台湾研修（2学年創造類型 10月）

SGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）事業の一環として、台湾における課題研究活動または異文化理解や語学力向上のために行われる研修である。海洋問題、特に水産資源や海洋自然環境、ジオ環境（地質・歴史・文化資源）、防災対策において、気仙沼・日本との比較研究を実施する上で極めて適する地域である台湾の現地調査を通じ、グローバルな視点からの思考力や多様性、行動力の育成を図る。



APU（立命館アジア太平洋大学）研修

ねらい：異文化理解と英語によるプレゼンテーション能力の向上

活動内容：APUで学ぶ多くの外国人大学生との交流を通して、異文化を理解するとともに、大学の教授や学生からアドバイスをもらいながら英語によるプレゼンテーションの方法を学ぶ。たった1日で発音・目線・表情などが見違えるように向上する研修である。

東日本大震災復興プログラム

防災教育

ねらい：非常時に的確に判断し、行動できるリーダーの育成を図る。

活動内容：防災講話や防災ワークショップ、自衛隊の指導に基づいた生活防災委員企画の生徒による防災訓練、県外の高校生や大学生との震災関連の交流会を実施する。秋の防災訓練では“様々なケースを想定した避難方法”について考える授業を生活防災委員が中心となり各クラスで実施する。

志教育

ねらい：「総合的な学習の時間」を中心に実施。教科横断的な知識を活用し、集団や社会における自己の果たすべき役割を考え、さらに“価値の高い生き方”や“自己を活かす生き方”などを探求する進路学習を行う。

活動内容：「総合的な学習の時間」ではR-CAPを活用した自己理解、社会人を招いてのキャリアセミナー、職業探究、学びの報告書・設計図の作成などを実施する。そのほか、地域清掃や被災地への支援物資の発送やボランティア支援を行う。

地方創生につながる学習

気仙沼市やNPO法人が主催する地方創生に関わるイベントに積極的に参加する。また、ユネスコスクールとして外部機関との連携を図りながら“地方創生”と“探究型学習”とを関連づけたESD（持続可能な開発のための教育）に取り組む。

